

◆主題名

きみはどう生きる？

内容項目	D	22	教材名・出典 風に立つライオン
価値項目	1・②	3・4	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解する。
本時のねらい 内なる弱さと向き合い、それを克服することで生きることの喜びを見出そうとする実践意欲を育てる。			
生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容 ケニアのイメージは？どんなところか知っている？ Ppで説明。音読。簡単に内容を確認。(ケニアに医療従事者として訪れている「僕」のもとに、結婚が決まった元恋人から手紙が届く)			

Link

<p>中心となる発問を主題とつなげるために、どんな発問をしておけばよいだろうか。</p> <p>①「僕」はケニアに旅立つとき、どんな気持ちだっただろう。恋人は、どんな気持ちだっただろう。 (僕: 恋人を日本に残して行くのは辛い。恋人: 日本にとどまってほしい。)</p> <p>②「辛くないといえば嘘になるけどしあわせです」ということ？ ※「僕」がこの生き方を選ぶ上で、手放したものは？大切にされたものは？ (手放したもの: 恋人・収入・安定した暮らし 大切にされたもの: ケニアの人・生きがい・夢)</p> <p>③「僕」の「『現在』を生きることの思いあがりたくない」とは、何を意味しているのだろう。 思いあがる→うぬぼれる・いい気になる (今の自分に満足していない・もっとやれることがある)</p>

◆テーマ (中心となる発問)

「風に向かって立つライオンでありたい」とは、どんな生き方を言うのだろう。
※「僕」の生き方をどう思う？

ねらいとする価値に迫るために

学び合い活動	場面発問①	場面発問②	場面発問③	中心となる発問
◆学び合い活動のねらい	なぜ学び合う活動をさせるのか、その意図を明確に。			
	変容をねらう	多様さに気付かせる	自分の考えを深めたり広げたりする	
	その他()			
学び合う活動のねらいを達成するための手立て				
1 心情円盤 2 ネームプレート 3 付箋紙 4 心のものさし 5 ICT 6 その他				
学び合う活動のスタイル				
① フリー 2 ペア 3 グループ 4 その他()				

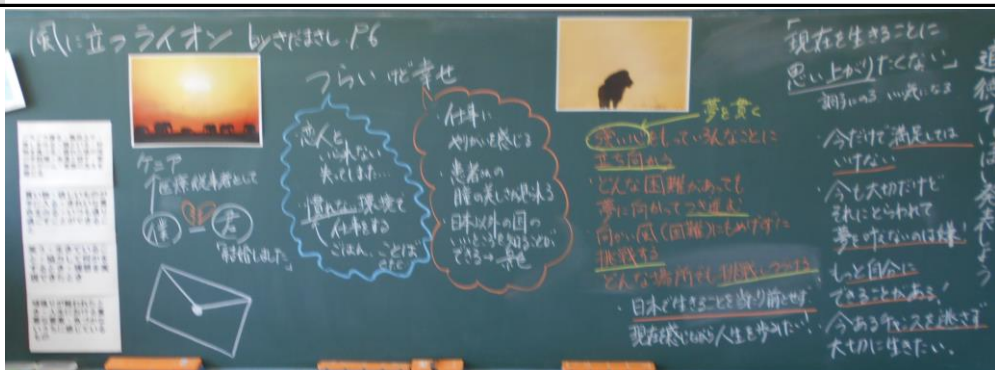
◆最後の振り返り

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

※給食時間に動画を流して、授業の余韻をもたせる。

【留意点・板書等】

作詞者「さだまさし」と詞の中の青年医師が違う人物であることをおさえる。
事前アンケートを紙で掲示し、「幸せ」の価値が変



【授業後の反省】

①の発問のあとで、「もし自分が青年医師だったら、ケニアに行く？」と生徒に尋ねると、「行く」「行かない」で分かれた。理由を尋ねると、相手の気持ちを考える者、職業への憧れを語る者とさまざまであり、ここで考えたことが②の発問に対する反応につながっていったと思う。